

## IV. 鹿児島勤労者山岳会との交流

### 1 鹿児島勤労者山岳会との出会い

加地幹夫

会創立数年後、徳島山と友の会会員の息子さんと鹿児島労山会長の息子さんの出会いが縁で山友の機関誌「ウステリア」と鹿児島労山の機関誌「噴煙」の交換が始まったと聞いています。その後、静かに歳月が流れ、2014年に鹿児島労山の機関誌「噴煙」のページを捲っていると剣山への山行計画の記事が掲載されていました。ちょっと交流したいという思いがよぎり、剣山から一の森周回コースをご一緒させていただきました。

翌2015年、5月下旬に概ね鹿児島10名、山友14名でわれらが誇る、県内最高の縦走路、剣山～三嶺を天候に恵まれた素晴らしいシチュエーションで交流しながら達成しました。そして、2017年5月上旬に神話の里高千穂町をベースに高千穂観光と大崩山系の鉾岳、大崩山。新緑と溪谷美、岩峰と花を目的に交流をしました。

今回2018年8月に阿波踊り観光をメインに、山行では落合峠～矢筈山、観光では鳴門渦の道、会事務所にお迎えしての交流会。夜の徳島阿波踊り見物へと交流が進みました。

山友25年の歴史の中で交流した会は鹿児島労山が唯一、初めてです。同じ日本勤労者山岳連盟に所属している中高年のクラブは数多くありますが関心が薄いため、隣は何をやる人ぞでよくわかりません。多くのハードルはありますが交流することで視野や世界が広がることは素晴らしいと思います。

無理のない、身の丈に合った交流を模索しつつ、長く続けていければと願っています。

### 2 鹿児島勤労者山岳会

鹿児島市に事務所を置き、鹿児島県勤労者山岳連盟に所属、ハイキングや山中泊縦走の外、沢登りやフリークライミングなど総合山岳会として活動している。

創 立 1967年9月15日

会員数 約70名

活動内容

- ・会員全員参加の情報交換の場として、毎月1回「定例会」を開催
- ・会報「噴煙」を発行
- ・会山行を実施するほか

読図やザイルワークなどの登山教室を実施している。

※ 詳しくは同会ホームページをご覧ください。

### 3 交流の概要

#### ○ 2015年度

##### <一ノ森～剣山～三嶺 縦走>

徳島山と友の会 14名 鹿児島勤労者山岳会 9名

・5月29日(金)

見ノ越～一ノ森～槍戸山～剣山

・5月30日(土)

剣山～丸石～丸石～高ノ瀬～白髪分岐～三嶺～名頃

見ノ越で合流後、剣山から三嶺まで縦走。

5月29日(金) 剣山「雲海荘」で交流会

#### ○ 2017年度

##### <鉾岳・大崩山 (宮崎県)>

徳島山と友の会 16名 鹿児島勤労者山岳会 8名

・5月1日(月)

会事務所～三崎～佐賀関～高千穂温泉(民宿)

・5月2日(火)

民宿～鹿川キャンプ場～雄鉾岳～雌鉾岳～鹿川キャンプ場～民宿

・5月3日(水)

民宿～宇土内登山口～石塚～大崩山～石塚～宇土内登山口～民宿

・5月4日(木)

民宿～佐賀関～三崎～会事務所

延岡市の道の駅「よっちみろ屋」で合流後、鉾岳、大崩山に登頂。

5月4日(木) 高千穂温泉民宿で交流会

#### ○ 2018年度

##### <落合峠～矢筈山>

徳島山と友の会 9名 鹿児島勤労者山岳会 6名

・8月12日(日)

吉野川SA～落合峠～矢筈山～落合峠

・8月13日(月)

鳴門「渦の道」～会事務所～阿波踊り～藍場浜演舞場～会事務所。

吉野川SAで合流後、矢筈山登頂

8月13日(月) 会事務所で交流会。(徳島山と友の会 12名出席)

## 鹿児島勤労者山岳会からのメッセージ

「徳島山と友の会」のみなさん、四半世紀への到達、誠におめでとうございます、栄えある会創立25周年にあたり鹿児島勤労者山岳会、会員一同挙ってお慶びを申し上げます。

爽やかで情緒豊かなBGMに誘われて設立時の“合言葉”「安全で楽しい山行活動を旺盛に・山に親しみ自然を守ろう・多くの仲間を迎え入れ、一人ひとりを大切にする会風を作ろう」が確かな共感となって心に深く刻み込まれます。

「徳島山と友の会の道標」もその後の会運営に脈打つ息吹として伝わってきました、そして、何よりも今回迎えられます25周年の到達が、100余名の会員一人ひとりの、それぞれの持てる力が遺憾なく発揮されての集大成であろうとの実感を確たるものと致しました。

「個を尊び、和を持って事と成す」の例えでしょうか、「鹿児島勤労者山岳会」の誕生と生い立ちにも相通ずるものを感じます。

私たちの会は、当時、盛んに開催されていた「平和友好祭」「登山祭典」などへの積極的な参加を社会的な背景・動機として1967年9月15日に誕生しました、会活動の原点を「個人の尊厳を認め合い・納得尽の会運営」「自然からの恵みを皆で享受」とし、その趣旨に基づき他会との交流も積極的に行ってきました、今年も5月のゴールデンウィークに大阪労山の仲間が大挙来鹿され2日間を楽しく過ごしましたが「まさに会の本領発揮！」と労山の存在価値・意義を再認識する機会ともなりました。

自然からの恵みを一人自分だけのものとせず皆と享受する、この共有の精神こそが労山の神髄、活動の源泉であり根底に脈々と流れる「労山の理念」のひとつではと確信しております。

貴会との交流が労山の理念を拠り所として益々発展し、了解の成長に大きく貢献しますことをご祈念申し上げましてお祝いのメッセージと致します。親愛の真心をこめて。

2018年8月吉日  
鹿児島勤労者山岳会  
会長 今村 正一

